

新学期が始まりました。今年の夏休みを振り返ると、前半はパリオリンピックの熱戦の数々に寝不足な日々が続きました。世界で互角に戦える競技が増えて、応援にも力が入りました。憧れを一層強くした子もいたことでしょう。一方、毎日のように熱中症警戒アラートが発令され、異常な暑さが続きました。あまりの暑さに思うように外で遊ぶことができなかつたのではないのでしょうか。また、後半はゲリラ豪雨や山北近くを震源とした地震が続くなど、自然の怖さも感じました。そのような中、大きな病気や事故もなく、皆さんが元気に始業式を迎えることができたと嬉しです。2学期も、「がんばる自分 ささえる仲間」を合言葉に、充実した学校生活を送れるよう努めていきます。



## 5年 初秋の田んぼへ行こう

今年の5年生は総合で、田んぼをとおして米作りの1年間を知ったり、園児と交流したりする活動を行っています。社会の学習で米作りの学習した後「ひえとりが大変そうだから手伝いたい。」という声があがったため、かかしを設置するときにひえとりをすることにしました。当日は岸幼稚園の園児と一緒に、「私たちのお米を守ってね」という願いを込めて、手作りかかしを設置しました。その後穂が実り始めた田に入り、稲を倒さないようにひえをとりました。短い時間でしたが、暑さと腰をまげての作業に「無理〜。」「大変!」という声があがるとともに、「ジョージさんたち、一人でやるって大変だ。」「無農薬だと、もっと作業が増えるってことだね。」「簡単に手伝うなんて言ってたけど大変な作業だった・・・。」という言葉が聞こえました。



体験を通じた気づきから、新たな課題が生まれ学びが深まることでしょう

## 自転車の安全な乗り方地区大会

夏休み中の8月22日(木)に「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」が開催されました。本校からは5年SKSSチーム(山本、内藤、青木、石塚)4年S&Wチーム(瀬戸ゆ、瀬戸こ、渡邊み、渡邊な)が参加しました。1市4町から8チームが参加し、学科と2種類の走行テストの成績を競いました。結果はS&Wチームが準優勝!来年6月に行われる県大会に出場することが決定しました。また、瀬戸琥太郎さんが個人2位、石塚志道さんが敢闘賞をいただきました。



おめでとう  
ございます

準優勝 S&W チーム

夏休みを終えて子どもたちを迎えたのは、草だらけのグラウンドでした。また大雨のため送迎用に開放したグラウンドは、車輪のあとで凸凹になってしまいました。雨上がりの朝、さっそくスポーツ委員会がグラウンド整備をしてくれました。・・・が一面に広がった雑草は、きりがありません。そこで委員会以外の5・6年生にも呼びかけたところ、翌朝から大勢が草むしりに協力していました。その姿を見て下級生も手伝い始めました。きれいになっていくグラウンドを見て、マンパワーのすごさを感じました。教師に指示されて動くのではなく、自ら協力を呼び掛けたこと。また、友達の呼びかけに進んで応える子どもたち。「こんな子に育てて欲しい」我々が願ったとおりの姿を見せる子どもたちです。

## 山北町商工会青年部とのコラボ避難訓練

「山北町商工会青年部では、能登の被災地支援活動で現地の子どもたちにお菓子を送ろうと考えているが、川村小の子どもたちと一緒に何かできないか。」保護者でもある池谷さんから授業参観の時にご提案いただきました。折しも、本校の9月1日の防災の日からめた避難訓練では、シェイクアウト行動の後、担当が関東大震災の話や日頃からの備えについて話をしています。そこで、今年は能登半島地震や、震災支援活動の様子についてお話をさせていただくことにしました。前半の避難行動の後、体育館に集合するよう放送で伝えと、児童は各教室から整然と集合してきました。「今、何をやる時か」各自がよく理解し、ふさわしい行動をとる姿に驚きと感動を覚えました。青年部の皆さんが、青年会の活動の様子に始まり、3か月たっても未だ復興が進んでいない現地の



写真などをもとに、お話をしてくださいました。現地の方の、「数々の温かいメッセージに励まされる。」という言葉や「自分たちが忘れられていくのではないかと不安を感じる。」という言葉が切実感をもって伝わってきました。最後に、かつて山北で共に活動していて今回被災された清水さんが、動画で「能登の子どもたちを元気にしたい。応援メッセージを書いてほしい。」と呼びかけました。皆が書いたメッセージを貼った支援物資を通して、私たちからのエールが届くことを願っています。

## 今後の予定

- ・5年野外教室 9月25日(水)26日(木) 足柄ふれあいの村 1泊2日
- ・1年給食試食会 9月25日(水)
- ・5年稲刈り 10月3日(木)
- ・6年山中合唱コン参観 10月4日(金)
- ・運動会(全校) 10月19日(土) 半日開催



## 校長室の窓から

夏休み皆さんはどのように過ごしましたか？今年川村小では、2つの研修を行いました。せっかくの夏休みです。「先生たちも学ぶ喜びや、楽しさを思い切り味わいましょう。」と企画しました。

### ①理科の実験教室

室伏保彦先生を講師にお招きし、2日にわたって行いました。大人も思わず「なんで?」「どうなってるの?」という声が出てしまう実験の数々に夢中になって活動しました。

実際に体験することで得られる学びをとおして、科学の面白さを味わうと共に「子どもたちにも、この感動を伝えたい。こんな授業をやってみたい。」という思いを新たにしました。

### ②新東名工事現場見学会

役場の新東名対策室の室長さんにご協力いただき、7月30日に河内川橋や山北スマートIC(仮)、向原の法面工事現場等を見学しました。遠くから見るのと、近くで見るのとでは迫力が違います。細かなところに最先端の技術と環境を守るための工夫が感じられました。「知ることで見方が変わる」何気なく遠くから見ていた工事の様子を「ずいぶん進んだな。今はきっとあの作業中なのだろう。」と思いをはせるようになりました。今しか見られない景色。教師は、いつまでも好奇心を大切にしたいものです。



もうすぐつながりそうな河内川橋